



岐阜柳ヶ瀬お化け屋敷

恐怖の細道

消えた子どもたち

企画書



「やながもん」

柳ヶ瀬お化け屋敷製作委員会

ごあいさつ

昭和の時代に育った私からしてみれば、現代は地域に根ざしたアミューズメントが少なくなっているように思います。

私が子どもだった頃、岐阜のまちには百貨店が多く立ち並び、その屋上には遊園地がありました。岐阜公園にはライオンやペンギンがいて、水道山の上にはプラネタリアムやお化け屋敷もあり、長良川交通公園には流水プールやジャンプ滑り台がありました。

翻って、現代の子どもたちにとってのアミューズメント施設とは何でしょうか。USJ？ディズニーランド？移動手段を持たない子どもたちにとって、果たしてそれらは身近な「遊び場」「たまり場」たり得るのでしょうか？私はこの「身近なアミューズメントが無い」という状況に、少なからず危機感を覚えています。アミューズメントの無い街に育った子どもが大人になった時、彼らの心象風景としての岐阜はどのように映るのでしょうか？まちは記憶によって象られ、育っていくもの。地域で楽しく過ごしたという記憶こそが、地域愛を育む上で必要だと考えます。

お化け屋敷「恐怖の細道」は、柳ヶ瀬商店街のまちおこしを目的として生まれた、非営利のイベントです。2012年に初開催して以来、数多くの来場者を迎え、マスコミにも広く取り上げていただきました。全国的にも大きな話題となり、岐阜のまちの盛り上げの一助となれたと自負しております。

昨年は諸事情により開催断念の運びとなりましたが、本年は新たに「岐阜発！！アミューズメントの地産地消」というコンセプトを掲げ、柳ヶ瀬商店街のみならず岐阜全体を盛り上げ、そこに住まう人たちの地域愛を育むことを目指してまいります。岐阜だからこそ出来る、岐阜ならではの価値を持った、新たな「恐怖の細道」にどうぞご期待ください。そして、皆様のご支援・ご協力のほどどうぞ宜しくお願い致します。



「やながもん」
柳ヶ瀬お化け屋敷製作委員会

代 表 吉村 輝昭

ものがたり

岐阜柳ヶ瀬お化け屋敷

恐怖の細道

消えた子どもたち

「じゃあ、また明日ね」

振り返ると、少女の姿は煙のように消えてしまっていた。

ただ一つ、花結びが施された赤い糸だけを残して…

その夏、学校帰り子どもたちが忽然と姿を消す事件が相次いでいた。

奇妙なことに、子どもたちが消えた場所には

決まって血のように真っ赤な糸が落ちているという。

姿なき誘拐者の目的は何か？

消えた子どもたちは、どこに行ってしまったのか？

再び動き出す「あの女」。

今、再び昭和最大の都市伝説の封印が解かれる。

日本中にセンセーションを巻き起こした、岐阜柳ヶ瀬お化け屋敷「恐怖の細道」が3年ぶりに復活！新たな会場に場所を移し、これまで以上に洗練された恐怖体験を真夏の柳ヶ瀬にお届けします。

今回は、過去4回の開催で描かれた少年「やなお」と口裂け女の物語とは一線を画し、「口裂け女」という、ある種悲しみを背負った存在のパーソナルを描く内容を用意しています。どうぞご期待ください。

開催概要

コンセプト

「岐阜発!! アミューズメントの地産地消」

私ども「やながもん」岐阜柳ヶ瀬お化け屋敷製作委員会は、3年ぶりとなる「恐怖の細道」を運営するにあたり、新たに「岐阜発!! アミューズメントの地産地消」というコンセプトを掲げさせていただくことに致しました。子どもたちが友達同士で気軽に立ち寄れる「地域アミューズメント」の担い手として、商店街のまちおこしだけではなく、地域に住まう子どもたちの地域愛を育むことを目指してまいります。そして、小資本、手弁当であってもアイデアとガッツ、なによりも地域愛があれば大資本、巨大アミューズメントに対抗するコンテンツを造りあげられる!という実績を岐阜発!!として広く発信したいと願っております。

「恐怖」というエンターテインメントを通じて子どもたちは泣き笑い、恐怖を乗り越えた（乗り越えられなかった）記憶を胸に育っていきます。そんな彼らはきっと街に対する想いをもった大人になってくれると信じております。柳ヶ瀬に寄り付かなくなってしまった「消えた子どもたち」が戻ってきた、活気のあるまちを目指して活動していく所存です。どうぞ皆様のご支援・ご協力のほど宜しくお願い致します。

【名称】 岐阜柳ヶ瀬お化け屋敷「恐怖の細道」～消えた子どもたち～

【日時】 2019年7月20日(土)～9月23日(月・祝)

9月は土日祝日限定営業

【場所】 柳ヶ瀬商店街エリア内 ※後日発表

【営業時間】 (平日) 11:00～20:00 (土日祝日) 10:00～20:00

【入場料金】 大人¥700・高校生¥500・子ども(中学生以下) ¥300

※3歳以下無料 ※予定

主催:「やながもん」柳ヶ瀬お化け屋敷製作委員会

協力:山口敏太郎タートルカンパニー プロデューサー:山口敏太郎

後援: 岐阜県、岐阜市、岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会、岐阜市商店街振興組合連合会、岐阜市中心市街地回遊性協議会、(合)柳ヶ瀬まちづくり会社、JA ぎふ、名古屋鉄道株式会社、岐阜市料理業組合、(公財)岐阜県暴力追放推進センター、柳ヶ瀬暴追弁護士有志

(5月31日現在)

美川 憲一デビュー55周年記念イベント企画 GO!GO!憲ちゃん!おめでとうデビュー55周年

岐阜市の中心街区である柳ヶ瀬を唄った「柳ヶ瀬ブルース」は美川憲一さんの出世曲であり、わが町を全国に知らしめた唄であると同時にその切ないメロディーは良き時代の昭和を思い起こさせる名曲であります。

わが町の誇りである美川 憲一さんのデビュー55周年（GO!GO!）という記念すべき年に昭和～平成をしぶとく生き抜いた美川さんの半生と街（岐阜、柳ヶ瀬）を称え振り返り、新しい時代「令和」へのエールを送りたいと考え、「GO!GO!憲ちゃん!おめでとうデビュー55周年」というイベントを企画いたしました。本イベントには葵一門 劇団舞姫の座長・葵好太郎さんのご協力をいただき、葵好太郎さんのパフォーマンスと美川憲一さんの半生を振り返るトークショー、そして美川さんに「柳ヶ瀬ブルース」を歌っていただく内容を予定しております。

【イベント内容】※予定

■葵好太郎パフォーマンス

■美川さんデビュー55周年記念イベント

〔美川憲一トークショー〕 案内役 葵好太郎

〔美川憲一歌謡ショー〕

新曲「愛染橋を渡ります」、「柳ヶ瀬ブルース」歌唱予定

- ・岐阜市長感謝状贈呈
- ・柳商連理事長感謝状贈呈
- ・市商連理事長感謝状贈呈

■閉会后 CD販売、握手会

【日時】 令和元年6月23日（日）16:00 開場／16:30 開始

【場所】 ぎふ葵劇場 岐阜市徹明通1丁目15

【入場料金】 指定席 ￥7,000 自由席 ￥6,000

主催：「やながもん」柳ヶ瀬お化け屋敷製作委員会

協力：ぎふ葵劇場、葵一門 劇団舞姫

※チケットはぎふ葵劇場、もしくは「やながもん」ウェブサイトにて購入可能

岐阜柳ヶ瀬お化け屋敷「恐怖の細道」 第4回 口裂け女オーディション

岐阜柳ヶ瀬お化け屋敷「恐怖の細道」の主役たる、口裂け女役を選定する「口裂け女オーディション」を今回も開催させていただき運びとなりました。3年ぶりの開催となる新たな「恐怖の細道」の、そして柳ヶ瀬の新たなヒロイン候補が誕生する瞬間を、どうぞお見逃しなく。

第4回となる今回のオーディションは、葵一門 劇団舞姫様のご協力をいただき、ぎふ葵劇場にて開催致します。大衆演劇の聖地・葵劇場らしく、さまざまな演出を凝らしたイベントを予定しております。また、特別審査員として「恐怖の細道」プロデューサーの山口敏太郎氏、劇団舞姫の葵好太郎座長にご参加いただくことが決定しております。同日に開催致します「GO!GO!憲ちゃん!おめでとうデビュー55周年」と併せまして、ご取材のほどよろしくお願い致します。

【日時】 令和元年6月23日（日） 13:30開場 14:00開始

【場所】 ぎふ葵劇場 岐阜市徹明通1丁目15 ※入場無料

【審査員】 葵好太郎（葵一門 劇団舞姫 座長）

山口敏太郎（「恐怖の細道」プロデューサー）

吉村輝昭（「やながもん」代表）ほか

※先輩口裂け女によるパフォーマンスも予定

第4回「口裂け女オーディション」募集要項

【応募資格】

18歳以上（高校生不可）の女性で、オーディションに合格した場合に「恐怖の細道」のキャストとして参加することが可能な方（労働シフト等は応相談）。当団体の趣旨を理解し、町おこし活動に情熱を燃やしていただける方。

【募集期間】 令和元年6月1日（土）～6月21日（金）

【応募方法】 「恐怖の細道」公式サイト（www.gifu-obake.net）内
応募フォームよりお申し込みください。

開催実績

■岐阜 柳ヶ瀬お化け屋敷「恐怖の細道」 ～もう、振り返れない～

2012 年7月13 日（金）～9月23 日（日）

合計来場者数：17,916 人



岐阜発祥の都市伝説である「口裂け女」をメインキャラクターとし、織田信長など岐阜ならではの要素を盛り込んだ形のお化け屋敷を製作・運営した。また、プロデューサーにオカルト作家の山口敏太郎氏を迎え、少年「やなお」（＝失われたかつての柳ヶ瀬のオマージュ）を探す旅に出るという物語性の高いお化け屋敷として開催。開催地である柳ヶ瀬商店街、また高校生や大学生とのコラボレーションも行い、商店街に賑わいを創出した。

当初動員目標としていた 15,000 人に対し、最終的に 17,916 人の動員に成功。マスコミの注目度も非常に高く、特にテレビに関しては東京キー局4局から取材を受け、全国的に柳ヶ瀬商店街の露出を増やすことが出来た。

■岐阜 柳ヶ瀬お化け屋敷「恐怖の細道」 ～あの夏の忘れもの～

2013 年7月20 日（土）～9月23 日（祝）

合計来場者数：22,000 人



二年目の開催となった 2013 年は、お化け屋敷の昭和・岐阜・柳ヶ瀬というメインコンセプトはそのままに、かつて岐阜市内を走っていた路面電車や、夜の柳ヶ瀬をモチーフにした仕掛けを盛り込み、随所に「岐阜ならではの」のエッセンスを取り入れたお化け屋敷を開催した。

また、商店街に一過性でない継続的な賑わいをもたらすことをコンセプトとして掲げ、岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会との共催でお化け屋敷を開催した。商店街内の店舗とのコラボ商品・グッズの販売も行い、入場待ちや体験後の来場者がお化け屋敷だけでなく、柳ヶ瀬全体を楽しんでいただける仕組みを構築し、商店街に前年以上の賑わいを創出することが出来た。

開催実績

■お帰り、憲ちゃん！お帰り、「柳ヶ瀬ブルース」！

2014 年7月2日（水）柳ヶ瀬商店街・高島屋東口わくわく広場



諸事情によりお化け屋敷の開催が叶わなかった 2014 年。我々「やながもん」は「お帰り、憲ちゃん！お帰り、『柳ヶ瀬ブルース』！」と題して、「やながもん」の名誉顧問を務めていただいている歌手の美川憲一さんを柳ヶ瀬商店街に招聘するイベントを企画。デビュー 50 周年を柳ヶ瀬でお祝いしたい！という我々の思いに美川さんもお協力いただき、高島屋東口わくわく広場にて歌を披露いただいた。美川さんのステージには数千人の観客が詰めかけ、柳ヶ瀬商店街に大きな賑わいをもたらす事が出来た。

■岐阜 柳ヶ瀬お化け屋敷「恐怖の細道」～夕暮れの帰り道～

2015 年7月19 日（日）～9月23 日（祝）※9月は土日祝日のみ営業

合計来場者数：18,900 人



二年ぶりの復活開催となった 2015 年は、「夕暮れの帰り道」がテーマ。誰しもが持っている幼い頃の風景や、根源的な闇への恐怖といった「記憶」に襲いかかるお化け屋敷を目指した。また、映画監督・井坂 聡氏の手によるショートムービー「夕暮れの帰り道」を製作すると共に、お化け屋敷内の演出映像も手がけていただくなど、新機軸を打ち出した一年となった。

加えて、「口裂け女」を「柳ヶ瀬の黒い偶像（アイドル）」としてプロデュースする仕掛けとして「口裂け女の歌謡ショー」や写真撮影会などを行ったことでキャラクター人気に火が付き、リピーターの数が過去最高となった。

開催実績

■ありがとう憲ちゃん、ありがとう「柳ヶ瀬ブルース」！

「美川憲一 歌とトークのチャリティショー」 2016 年7月 22 日（金）グランヴェール岐山

「憲ちゃんまつり」 2016 年7月 23 日（土）旧長崎屋前特設ステージ



美川憲一さんの「柳ヶ瀬ブルース」発売 50 周年である 2017 年。いわば柳ヶ瀬の「国歌」とも言えるこの曲のメモリアルイヤーをお祝いすると共に、今後も語り継いでいきたいとの思いから、2014 年に続いて美川さんを柳ヶ瀬に招聘した。「歌とトークのチャリティショー」では美川さんの愛用品をチャリティオークションにご提供いただき、その売り上げを「憲ちゃん基金」として寄贈いただいた。旧長崎屋前特設ステージにて開催した無料イベント「憲ちゃんまつり」にも数多くの市民が訪れ、大きな賑わいを創出できた。美川さんには、「憲ちゃんまつり」終了後、お化け屋敷のオープニングセレモニーにも参加いただいた。

■岐阜 柳ヶ瀬お化け屋敷「恐怖の細道」～あの曲がり角から～

2016 年 7 月 23 日（土）～ 9 月 25 日（日）

合計来場者数：14,500 人



過去 3 回開催した旧豊富座から、日の出町通りの club-G 1F に場所を移して開催。新たに「アミューズメントの地産地消」というコンセプトを掲げ、より岐阜色を打ち出した四度目の「恐怖の細道」は、曲がり角の奥に潜む恐怖がテーマ。音や光を駆使した新機軸の仕掛けも導入した。前年好評を得た「口裂け女の歌謡ショー」や写真撮影会など、ファン向けのイベントを積極的に仕掛け、多くの固定ファンを獲得することに成功。この年のお化け屋敷の様子は NHK 国際放送でも取材され、海外にも配信された。

開催実績

■岐阜柳ヶ瀬「恐怖の夏祭り」

2017年 8月13日（日）・8月14日（月）

合計来場者数：約1,400人（肝試しのみ）



2017年は、会場確保等の諸問題が重なり、お化け屋敷形式での開催を断念することとなったが、新たな試みとして柳ヶ瀬商店街近くの金神社・金公園にて2日間限定イベント「恐怖の夏祭り」を開催した。昭和のお祭りや縁日にあった高揚感と少しの猥雑さ。そのハレの空気に、これまで培ってきた「怖さ」という要素を加えた、今までに無い夏祭りとなった。

神社の境内の雰囲気を活かした「肝試し」をメインとして、口裂け女と同じメイクが出来る「口裂けメイク体験」、口裂け女がリングで大暴れする「妖怪プロレス」などイベント盛りだくさんの2日間となり、無料での開催となった肝試しには入場整理券を求める来場者が長蛇の列を作った。

お問い合わせ先

広報担当者

稲垣 康雄（いながき・やすお）

携帯電話 090-7303-7261

E-mail yasui@bf6.so-net.ne.jp

印刷物・データ担当

河村 岳明（かわむら・たかあき）

携帯電話 090-9922-8082

E-mail kappaman3@gmail.com

事務局長

武藤 昭成（むとう・あきなり）

携帯電話 090-7026-0380

E-mail akinari@kasiwa-ya.com